

令和6年度 第1回農村RMO推進研究会

事例発表資料

---

与謝地域山村活性化協議会

令和6年9月

# 農村RMOモデル形成支援 与謝・滝・金屋地区 与謝地域山村活性化協議会（京都府与謝野町）



中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金の活用による農用地保全、IoTによる高齢者見守りシステム、NFTを活用した関係人口創出の仕組みにより、持続的な活動を確立する。

#IoT、#NFT、#高齢者見守り、#SDGs ※NFT（Non-Fungible Token）：所有証明書や鑑定書が付いたデジタルデータのこと。非代替性トークン。

## 対象地域

（事務局名）

滝・金屋農業振興会

（地域の範囲）

小学校区（3集落）

（土地面積（H27国勢調査））

3,154ha

（農地面積（2020農林業センサス））

149ha

（世帯数（R2国勢調査））

493戸

## 構成員

- ・滝・金屋農業振興会
- ・与謝農業振興会
- ・（有）あっぷるふぁーむ
- ・（有）誠武農園
- ・（株）砂後建設
- ・（福）よさのうみ福祉会
- ・与謝野町農業再生協議会
- ・（株）与謝ファーム
- ・与謝野町観光協会
- ・滝区
- ・金屋区
- ・与謝区

## 活動に関連する他の施策

- ・「デジ活」中山間地域
- ・中山間地域等直接支払交付金
- ・多面的機能支払交付金
- ・過疎地域持続的発展支援交付金（R6）

## 取組内容

### 現状と課題

#### 農用地保全

- 農業活性化戦略(将来ビジョン)の策定は、滝・金屋農業振興会が先行しており、与謝農業振興会による将来ビジョン策定が急務。
- 『少なくなる人口で農地保全と農業振興を図る』仕組みを検討し、地域管理構想としてまとめる必要。

#### 地域資源活用

- 一層の農業振興を図るためにも、地域のブランド力を高める取組が必要。

#### 生活支援

- 人口減少、高齢化が進行する中で、鳥獣害対策や高齢者見守りにかかる労力をいかに確保していくかが大きな課題。

### 課題に対する対応方針

- 農地を保全する体制づくり及び農地管理構想図を作成する。
- IoT活用 of 通信環境を構築し、遠隔操作の実証試験計画を策定する。
- 農用地保全への支援に向けた関係人口獲得手段として、先行事例を踏まえつつNFTの活用を検討する。

- 地域活性化を目的としたNFT活用の検討を行う。
- 地域の農産物を使用したレシピ開発や美味しさを伝える動画の制作。
- 環境保全状況や農福連携、地産地消などの地域づくりについて、SDGsを踏まえた報告書を作成する。

- 民生委員の協力を得て独居高齢者の見回り等のニーズを把握する。
- IoT通信環境を活用し、高齢者見守りを遠隔で行う実証試験と、有害鳥獣の捕獲を遠隔で把握できるようにする。

### 目指す方向性(将来ビジョンより)

- 農地中間管理事業を活用した再編、集落営農を進める。
- 保全が困難な地域では、農地の維持管理を進める。
- 遠隔から水を管理できる仕組みを進める。
- デジタルによる情報発信。

- 地域等の取り組みを情報発信する。
- 地域の農産物等についてネット販売ができる仕組みを作る。
- 旧与謝小学校において、イベント等に取り組む。

- デジタル技術を活用した見回りの仕組みを検討する。
- 農地保全情報と連携した生活支援情報についてデジタル発信を検討。

推しポイント 『農』『観』『福』『食』をコンセプトに魅力ある豊かさを追求する地域づくりを展開し、ポストコロナに向けて国内だけでなく、海外の観光客を誘致することで地域の魅力を再発見し、交流から移住へつなぐ豊かさを感じる農村づくりを展開していきます。



## 1年目（令和4年度）

## 2年目（令和5年度）

## 3年目の状況（令和6年度）

### 取組の総括

- ・与謝・滝・金屋の3地区の集落戦略と生活支援などを併せた与謝地域全体のビジョンとなる「与謝地域山村活性化協議会将来ビジョン」を作成した。

- ・将来ビジョンの内容に基づき、多岐にわたる取組を検討・検証することで、地区単独で実現可能な取組の取捨選択ができた。

- ・将来ビジョンの内容に基づき、多岐にわたる取組を検討・検証することで、地区単独で実現可能な取組を実施

### 農用地保全

- ・IoTを活用した水田の水管理などに係るデジタル化の仕組み検討。

⇒水田の自動給水機の実証実験実施に向けて、地元関係者と協議し、理解を深めた。



- ・IoTを活用した農地の管理方法として、自動給水栓の実証実験とドローンによる水張り状況確認の試行。

⇒省力化の検証により、機械改善・量産の道筋立てと試行農家の所感が確認できた。



- ・IoTを活用した農地の管理方法として、自動給水栓の改良版の実証実験、IoTネットワークの整備と水位状況の遠隔確認システムの導入。山越をするルートでのドローンによる水張り状況確認の試行。



### 地域資源活用

- ・地域農産物の周知や農村資源の見える化に向けた大学等との連携の模索、関係人口づくりの手段としてのNFTの研究。

⇒勉強会等により、農産物加工品の品目が決定された。また、NFT活用の指針が定まった。



- ・馬を仕掛けとした農村地域の風景を体感するホースセラピー導入に向けた検討。
- ・地場産加工品の試作・検討

⇒地域内外にファンを獲得することができ、継続的に地域に関わる人材確保に繋がった。



- ・地域資源を活かしたNFT押し活クレジットカードによるポイント還元システムの導入（過疎事業）
- ・急勾配を活かした省力化発電の可能性調査
- ・農業体験コンテンツの開発（過疎事業）



### 生活支援

- ・独居老人の見回り等に関する、デジタル化に向けた仕組みの検討。

⇒独居老人の居住地や、空き家の所在地等生活支援情報等をGISデータに一元化できた。



- ・LINEを活用した情報発信の試験的運用
- ・市民農園による地域内外人材の交流検討

⇒地域内でのデジタル移行への素地ができた。市民農園利用者ヒアリングにより、更なる利用者の獲得に向けた検討が行えた。



- ・LINE活用の情報発信の試験的運用の拡大
- ・市民農園による地域内外人材の交流検討
- ・IoT電球を活用した独居老人見守りの試験的運用

